

## 市村康男氏御挨拶

ただ今、外務大臣表彰を頂き身に余る光栄ですが、私自身はとても表彰されるような功績があったとは思っておりません。ハノイに来て10年間、無料の日本語学校を運営して来た、ただそれだけの事です。

親友で東京MXテレビ前社長の中川謙三氏から「在ベトナム日本大使館は良く見えていますね」とのメールが参りました。言われてみれば、自分のホームページもスクールのホームページもありません。名刺にもスクールの事は一切書いてありません。このように目立たない、平凡な老人に光を当てて頂いた日本大使館に厚くお礼を申し上げます。

私がハノイに来ることとなったのは2008年2月のNHKテレビを見たことによるものです。「日本で働くベトナムのITエンジニアは高い技術力を持っているが、日本語が十分でないため、中国人・韓国人の70パーセントの給与しか貰えない」と出ていました。知り合いのベトナム人エンジニアに聞いたところ「その通りです」と言います。日本人の先生が不足しているそうです。定年になっていましたから、私がベトナムへ行けば教えられると考えました。そして2008年の9月にスクールを開講し、現在に至っています。

ベトナムの日本企業は、学歴よりも日本語能力試験の資格を重視して採用や給与を決めています。このため、スクールは月曜から日曜まで、日本語能力試験合格に特化した授業を行っています。「合格さえすれば私の名前など忘れて構わない、とにかく合格してくれ」とやっています。

生徒達は大変優秀で、今までにN1、N2合格者は180名近くになり、ベトナムで就職した生徒は三菱商事、三井物産、JICA等で活躍しています。ハノイ工科大のITは大半が日本に渡り、日本のIT企業で働いています。彼らの高い技術力は定評があるところです。また、東大大学院、政策科学大学院大学、筑波大学等の各大学に留学もしています。

ハノイに来る前は、日曜のみ無料の日本語学校をやっていました。生徒の大半は中国人と韓国人でした。気が付いたのはベトナムの学生は中国人・韓国人に比べ、地頭が大変良い、つまり生まれつき頭が大変良いという事です。数学のフィールズ賞は日本でも広中平祐等3人が受賞しただけですが、ハノイ工科

大卒の方は受賞しています。一方、中国、韓国はゼロです。

また、ベトナムの学生に「日本語が上手だ」と褒めると必ず「まだまだです」という答えが返って来ます。勤勉と謙虚な姿勢は、日本人に好かれる大きな要因になっています。

日本のベトナム人留学生は3万人を超え、韓国を抜き中国に次いで二位になりました。実習生は8万8000人と中国を抜いて一位になりました。ベトナムは世界一の親日国家です。スイスの銀行は「ベトナムは中国を抜いて今やアジアの新しいドラゴンだ」と言っています。私はもう老人ですが、このような素晴らしい環境に居る事に幸せを感じます。